

ちょっと

# 知ってほしい話

vol.18

令和2年11月発行

発行元 地域連携課

医療法人社団 東光会

八王子山王病院

Hachioji Sannou Hospital

## 血液検査でわかること

肝機能編



健康診断などで行う血液検査。健康状態や病気の有無を知る上でとても重要な検査ですが、皆さんはその検査項目の意味や検査内容をご存じですか？  
検査の意味を理解し、目に見えない健康状態を知ることは、健康管理や病気の予防のためにとっても大切です。

検査項目	名称	正常基準値	単位	検査内容	
肝機能	TP	総たんぱく	6.5 ~ 8.2	g/dL	血清中の総たんぱく濃度で、肝機能障害、腎機能障害などで低下します。
	ALB	アルブミン	3.8 ~ 5.3	g/dL	血清たんぱくの主成分で、肝機能障害などで低下します。
	A/G 比	アルブミン・グロブリン比	1.30 ~ 2.00		血中のアルブミンとグロブリンの比率で、肝機能や腎機能障害などで変動します。
	T-Bill	総ビリルビン	0.2 ~ 1.0	mg/dL	胆汁色素。主に肝機能障害や胆道系疾患などで高値となり、黄疸をきたします。
	D-Bill	直接ビリルビン	0.0 ~ 0.4	mg/dL	肝臓で処理された後のビリルビン。主に肝機能障害や胆道系疾患などで高値となり、黄疸をきたします。
	I-Bill	間接ビリルビン	0.6 ~ 1.0	mg/dL	肝臓で処理される前のビリルビン。主に溶血性疾患で上昇します。
	AST(GOT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	7 ~ 38	IU/L	主に肝臓・心臓由来の酵素。肝炎、肝硬変または心筋梗塞などで高値となります。
	ALT(GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ	4 ~ 44	IU/L	主に肝臓由来の酵素。肝炎や脂肪肝などで高値となります。
	ALP	アルカリフォスファターゼ	成人 38 ~ 113	IU/L	主に肝、胆道系、骨由来の酵素。肝臓、胆のうなどの各種疾患で高値となります。
	LDH	乳酸脱水素酵素	124 ~ 222	IU/L	肝細胞をはじめた多臓器由来の酵素。各種疾患で上昇します。
	γ-GTP	γ-グルタミルトランスフェラーゼ	男性 6 ~ 64 女性 2 ~ 40	IU/L	アルコール・薬物による肝機能障害や胆道系障害などで高値となります。
	CPK	クレアチニンキナーゼ	22 ~ 222	IU/L	主に筋肉、心筋などに存在し、これらの組織が障害を受けると高値となります。
NH <sub>3</sub>	アンモニア	75 以下	μg/dL	主に重症な肝機能障害などで高値となります。	

※正常基準値：2021年4月現在の八王子山王病院の基準値です。

肝臓は『沈黙の臓器』と言われる臓器の一つで、なかなか症状を自覚することはありません。そのため、肝機能の血液検査はとても大切です。健康診断などで異常を指摘された場合は早めに医師に相談しましょう。

監修：八王子山王病院 臨床検査科 高橋 嘉明